

果樹共済

加入できるくだもの及び引受方式

北海道で果樹共済に加入できるくだもの（樹種）は「りんご」と「ぶどう」の2種類です。また、果樹共済には果実を補償する「収穫共済」と樹体を補償する「樹体共済」があります。収穫共済における引受方式は以下のとおりです。

■ 収穫共済

りんご

- ・全相殺減収方式
- ・半相殺減収総合（短縮・一般）方式
- ・地域インデックス方式

ぶどう

- ・災害収入共済方式
- ・全相殺減収方式

■ 樹体共済：りんご・ぶどう

◆引受方式ごとの責任期間（令和5年度）

果樹共済の責任期間は、引受方式によって約1年半の責任期間のもの（花芽の形成期から翌年の収穫期）と約7か月の責任期間のもの（発芽期から当年産の収穫期）の2種類があり、約1年半の責任期間については、加入した年の果実は補償されず、翌年に収穫する果実を補償します。

年	令和5年		令和6年	
引受方式／補償対象月	4月～6月	7月～11月	12月～6月	7月～11月
・全相殺減収方式 ・半相殺減収総合一般方式 ・地域インデックス方式 ・災害収入共済方式		令和6年産の果実を補償		
・半相殺減収総合短縮方式	令和5年産の果実を補償			
・樹体共済		令和5年度 責任期間		

令和5年産の果実を補償（りんご）

引受方式	半相殺減収総合短縮方式
今年加入すると	令和5年産果実を補償
補償する期間	発芽期から果実の収穫まで (約7ヶ月間)
支払開始割合 (補償限度割合)	3割・4割・5割 (7割・6割・5割)
対象となる災害	風水害・ひょう害・干害・寒害・雪害・暖冬害・ 凍霜害・冷害・冷湿害・雨害湿潤害・雷害・ 地震の害・噴火の害・地すべりの害・火災・ 病害・虫害・鳥害・獣害による果実の減収
加入要件	類区分ごとに5a以上を栽培している農家
結果樹齢（加入樹齢）	申込年（令和5年度時点）丸葉：8年生から 矮台：4年生から
共済金支払い	果実の減収量が、基準となる収穫量の 3割・4割・5割（支払開始割合）を超えるとき
申込み期間	3月15日～4月1日まで
掛金納入期限	令和5年4月15日
損害査定方法	樹園地にて収穫量を実測で調査

果樹共済のメニュー

令和6年産の果実を補償（りんご）

引受方式	全相殺減収方式	半相殺減収 総合一般方式	地域 インデックス方式
今年加入すると	令和6年産果実を補償		
補償する期間	花芽の形成期から、その花芽に係る 果実の収穫期までの約1年半		
支払開始割合 (補償限度割合)	2割・3割・4割 (7割・6割・5割)	3割・4割・5割 (7割・6割・5割)	1割・2割・3割 (9割・8割・7割)
対象となる災害	風水害・ひょう害・干害・寒害・雪害・暖冬害・凍霜害・冷害・ 冷湿害・雨害湿潤害・雷害・地震の害・噴火の害・地すべりの 害・火災・病害・虫害・鳥害・獣害による果実の減収		
加入要件	類区分ごとに5a以上を栽培している農家 ※全相殺減収方式加入は過去5か年間及び今後も以下の方法により適正に出荷量もしくは収 穫量が確認できる方。 ①出荷団体からの出荷伝票 ②青色申告書等資料 ③税務申告に係る帳簿		
共済金支払い	果実の減収量が基準となる収穫量の 2割・3割・4割 (支払開始割合) を超えるとき	3割・4割・5割 (支払開始割合) を超えるとき	統計収穫量より算出し た減収量が基準となる 収穫量の1割・2割・3割 (支払開始割合) を超えるとき
申込み期間	5月1日～5月15日まで		
結果樹齢（加入樹齢）	申込年（令和5年度時点）丸葉：7年生から 矮台：3年生から		
掛金納入期限	令和5年7月1日		
損害査定方法	●出荷数量調査 出荷団体からの伝票等による調査 ●青色申告調査 青色申告書等による書類調査 ●白色申告調査NEW 税務申告に係る帳簿による調査	樹園地にて収穫量 を実測で調査	農林統計単収 による調査 ※上記統計単収を用いて損害 査定を行うことから、個人の 被害は反映されません。

令和6年産 収穫共済（ぶどう）

全相殺減収方式

災害収入共済方式

令和6年産果実を補償

花芽の形成期から、その花芽に係る果実の収穫期までの約1年半

2割・3割・4割
(7割・6割・5割)

共済限度割合
8割・7割・6割

風水害・ひょう害・干害・寒害・雪害・暖冬害・凍霜害・冷害・冷湿害・雨害湿潤害・雷害・地震の害・噴火の害・地すべりの害・火災・病害・虫害・鳥害・獣害による果実の減収。
災害収入共済方式は果実の減収又は品質の低下に伴う生産金額の減少

類区分ごとに5a以上栽培し、過去5か年間および今後も以下の方法により適正に出荷量もしくは収穫量が確認できる農家（災害収入共済方式は品質又は価格の資料等を含む）。

- ①出荷団体からの出荷伝票 ②青色申告書等資料
- ③税務申告に係る帳簿（全相殺減収方式のみ）

果実の減収量が、基準となる収穫量の
2割・3割・4割を超えるとき

当該年産の品質を加味した収穫量が
基準収穫量を下回りかつ、生産金額が
基準生産金額を下回ったとき

5月1日～5月15日まで

申込年（令和5年度時点）2年生から

令和5年7月1日

- 出荷数量調査
出荷団体から伝票等による調査
- 青色申告調査
青色申告書等による書類調査
- 白色申告調査 **NEW**
税務申告に係る帳簿による調査（全相殺減収方式のみ）

果樹共済のメニュー

樹体共済（りんご・ぶどう）

果実の減収量を補償する収穫共済に対し、樹体そのものの損害を共済の対象とする制度です。

樹体の損害を補償する資産共済であることから、補償対象が異なる収穫共済または収入保険と重複して加入することができます。

補償する期間	7月2日から1年間
対象となる災害	すべての気象災害・病虫害・鳥獣害・火災・地震 噴火による樹木の枯死・流出・埋没・損傷
加入面積要件	5a以上の農家
申込期間	5月1日～5月15日まで
掛金納入期限	令和5年7月1日
結果樹齢（加入樹齢）	りんご 丸葉：7年生・矮台3年生 ぶどう：2年生から
共済価額	細区分ごとと樹齢区分ごと 標準収穫量×kg当たり価額×樹齢区分別換算係数※

※標準収穫量は、園地条件、肥培管理、樹体の損傷状況等を現地にて確認のうえ補正されます。

※樹齢区分別換算係数とは、樹の育成費用や将来の期待収益を加味した係数です。

りんご（一例）

樹齢11年～15年：6.2

16年～20年：6.7

21年～30年：6.9

ぶどう（一例）

樹齢11年～15年：5.0

16年～20年：5.1

21年～25年：4.0

共済価額例（りんごの場合）

標準収量表		引受 本数 (本)	標準 収穫量 (kg)	kg当たり 価額 (円)	標準 収穫金額 (円)	樹齢区分別 換算係数	共済価額 (円)
つがる (樹齢)	1本あたり 収穫量 (kg)						
8年生	24	5	120	185円	22,200	4.6	102,120
15年生	48	10	480		88,800	6.2	550,560
20年生	76	5	380		70,300	6.7	471,010
合計		20	980		181,300		1,123,690

収穫共済または収入保険 とのセット加入OK

共済金額（補償金額）

共済価額×40%～80%の範囲内で農家が選択

共済金額例

共済価額 1,123,690円 × 補償割合 80% = 898,000円（千円以下切り捨て）

共済掛金

共済金額×共済掛金率

共済掛金例

共済金額 898,000円 × 共済掛金率 1.94% = 17,421円

農家負担掛金等

共済掛金： 17,421円 - 国庫負担1/2 8,710円 = 8,711円①

賦課金： 898,000円 × 0.2% = 1,796円②

農家負担掛金等 ① + ② = 10,507円

損害認定の対象
となる損害

樹体の損傷の程度が10万円（共済価額の1/10が10万円に満たない場合は1/10の額）を超えた場合に対象となります。

損害の額の算定方法

樹齢区分別の果樹ごとの1本当たりの価額×全損換算本数※の合計

※全損換算本数とは

[樹齢区分別の損害程度別の本数×損害程度の割合] の合計

樹体被害は、すべての樹体が根元から折損した全損だけでなく、片枝になってしまった場合など損傷程度が異なるため、全損になった本数に換算します。

損傷程度	全損	分損				
		90%以上	80%以上 90%未満	70%以上 80%未満	60%以上 70%未満	50%以上 60%未満
割合	100%	95%	85%	75%	65%	55%

例) 8年生の樹1本全損 20年生の樹10本損害程度50%にて伐倒の場合

樹齢	損害程度	損傷程度の割合	全損換算本数
8年生	全損	100%	1本
20年生	50%以上60%未満	55%	5.5本

共済金の支払い

ご加入いただいた果実又は樹体に被害が発生した場合、以下の支払方法によって共済金をお支払いいたします。

収穫共済

共済金

=

共済金額

×

支払割合

支払割合は、損害割合（減収量 ÷ 基準収穫量）に応じて計算されます。

例) 全相殺減収方式 共済金額1,000,000円 損害割合50%
 (共済金) 380,000円 = (共済金額) 1,000,000円 × (支払割合) 38%

支払割合算出方法

支払開始割合	共済金支払割合
1割	$10/9 \times \text{損害割合} - 1/9$
2割	$5/4 \times \text{損害割合} - 1/4$
3割	$10/7 \times \text{損害割合} - 3/7$
4割	$5/3 \times \text{損害割合} - 2/3$
5割	$2 \times \text{損害割合} - 1$

損害割合ごと支払割合

区分		損害割合 (%)								
		11	21	31	50	60	70	80	90	100
共済金 支払割合 (%)	半相殺減収総合方式	—	—	1	29	43	57	71	86	100
	全相殺減収方式	—	1	14	38	50	63	75	88	100
	地域インデックス	1	12	23	44	56	67	78	89	100

※半相殺減収総合方式30%、全相殺減収方式20%、地域インデックス方式10%の支払開始割合で加入の場合

樹体共済

共済金

=

共済金額

×

損害額の割合

樹体の損害額/共済価額

樹体の損害額計算方法

樹齢	損害程度	割合	全損換算 本数	樹齢毎1本当たり価額	樹体の損害額
8年生	全損	100%	1本	20,424円	20,424円
20年生	50%以上 60%未満	55%	5.5本	94,202円	518,111円

樹体の損害額の合計 538,535円…②

共済金計算方法 共済金額898,000円…① 共済価額1,123,690円…③ 損害額538,535円…②

共済金額 ①	損害額 ②	共済価額 ③	損害額の割合 ④ = ② ÷ ③	共済金 ① × ④
898,000	538,535	1,123,690	48%	431,040円

〇りんご（10aあたり）

半相殺減収総合方式

加入区分	類区分	補償額 (千円)	負担額 (一般)	負担額 (短縮)
第1区分	1類	183千円	5,728円	5,261円
	2類	179千円	6,892円	6,301円
	3類	227千円	8,796円	8,036円

全相殺減収方式

加入区分	類区分	補償額 (千円)	負担額
第1区分	1類	183千円	5,490円
	2類	179千円	6,578円
	3類	227千円	8,399円
第2区分	4類	195千円	6,903円

地域インデックス方式

加入区分	類区分	補償額 (千円)	負担額
第3区分	4類	250千円	2,775円

樹体共済

補償額 (千円)	負担額
1,490千円	17,433円

※補償額は加入地域における平均10aあたり標準収穫金額（R4年産）に全相殺方式・半相殺方式は70%、地域インデックス方式は90%で算出

※樹体共済の樹齢区分別換算係数は平均樹齢の16年生から20年生の適用係数6.7を使用し算出。

※全相殺減収方式は1類から3類は出荷量調査及び青色申告調査、4類は白色申告書等による調査方式になります。

〇ぶどう収穫共済（10aあたり）

全相殺減収方式

加入区分	類区分	補償額 (千円)	負担額
第1区分	1類	140千円	4,634円
	2類		
	3類		
第2区分	5類		

災害収入共済方式

加入区分	類区分	補償額 (千円)	負担額
第4区分	6類	160千円	3,976円

樹体共済

補償額 (千円)	負担額
800千円	4,920円

※補償額は加入地域における平均10aあたり生産金額（200千円）に全相殺方式70%、災害収入共済方式は80%で算出。

※樹体共済の樹齢区分別換算係数は平均樹齢の11年生から15年生の適用係数5.0を使用し算出。

細区分ごとの品種およびkg当たり価額

りんご

加入区分 ・類区分		細区分	主な品種	R 6年産 価額	R 5年産 価額	引受方式
第1 区分	第3 区分					
1類		1群	つがる・あかね・きたかみ・さんさ など	185円	183円	第1区分 ・全相殺減収方式 (帳簿全相殺方式以外) ・半相殺減収総合方式 (短縮・一般) 第3区分 ・地域インデックス方式
		2群	旭・未希ライフ・きおう	203円	229円	
2類	4類	3群	おいらせ・涼香の季節・北斗・ ひめかみ・紅将軍・昂林・弘前ふじ・ レッドゴールド	202円	207円	
		4群	ハックナイン・紅玉・むつ・ ノースクイーン・北紅・4-23・デリ系 など	139円	140円	
3類		5群	王林・ふじ など	250円	247円	
		6群	ぐんま名月・あいかの香り・ シナノゴールド	428円	371円	
第2区分 4類		全品種		531円※	-	・全相殺減収方式 (帳簿全相殺方式)

※半相殺減収総合短縮方式のみ令和5年産適用

※第2区分(帳簿全相殺方式)のkg当たり価額は、記載の価額を上限とし、本人の過去4か年の平均価額と記載価額のいずれか低い価額を使用します。

ぶどう

加入区分	類区分	細区分	主な品種	R 6年産 価額	引受方式
第1区分	1類	1群	早生の品種	277円	・全相殺減収方式 (帳簿全相殺方式以外)
	2類	2群	中生の品種	306円	
	3類	3群	晩生の品種	362円	
第2区分	5類	全品種		2,633円※	・全相殺減収方式 (帳簿全相殺方式)

※第2区分(帳簿全相殺方式)のkg当たり価額は、記載の価額を上限とし、本人の過去4か年の平均価額と記載価額のいずれか低い価額を使用します。

注意事項※必ずご確認ください。

損害通知（被害申告）

共済事故が発生した場合は速やかに事故発生通知をしてください。

損害通知（被害申告）がない場合は損害評価ができませんので十分注意して下さい。

注意事項※必ずご確認ください。

共済責任期間中に発生した共済事故による損害であっても、次のような場合には共済金の全部または一部をお支払いできないことがありますので、ご留意願います。

- ① 加入者が通常すべき管理その他損害防止の義務を怠ったとき。
- ② 加入者が損害防止のため特に必要な処置について組合の指示に従わなかったとき。
- ③ 加入者が事故発生通知または損害通知の義務を怠ったとき、または悪意もしくは重大な過失によって不実の通知をしたとき。
- ④ 加入者が加入している果樹を譲渡し、伐倒し、もしくは高接ぎしたことについての通知を怠り、または悪意若しくは重大な過失によって不実の通知をしたとき。
- ⑤ 加入者が加入申込みの際、悪意または重大な過失によって次に掲げる事項等を通知せず、または不実の通知をしたとき。
 - ア. 樹園地の所在地、面積、果樹の品種、栽培方法、樹齢別本数
 - イ. 既に共済事故が発生している果樹があることまたはその事故の原因が生じている果樹があること。
- ⑥ 加入者が植物防疫法の規定に違反したとき。

MEMO



お問い合わせ

北海道農業共済組合 農作部園芸果樹グループ

住 所：札幌市中央区北4条西1丁目1番地
北農ビル15階

電 話：011-271-7234